



経営・会計プログラム

企業活動から生じる社会的な課題を発見し
解決するための専門的な能力を高める

経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えると同時に、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的、実践的に学びます。本プログラムの特徴は、こうした仕組みや規制、関係性を制度の一部としてとらえ、個別の要素を分析するだけでなくより広い視点から複合的にとらえることができる能力を育成することにあります。

このために本プログラムでは、経営学や会計学の理論や分析手法について学び、フィールドワーク等を通して制度上の問題点を明らかにします。また、少人数教育（ゼミ）では、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。

学べる科目

経営学概論、経営管理論、人事管理論、競争戦略論、比較経営論、企業システム論、マーケティング論、流通論、国際経営論、簿記原理Ⅰ、簿記原理Ⅱ、会計学原理、財務諸表分析、原価計算論、会計制度論、経営史、経営学基礎演習、経営学特殊講義、会計学基礎演習、会計学特殊講義、社会制度設計演習Ⅰ、社会制度設計演習Ⅱ

進路、就職先

【企業等】 イートアンド、一宮運輸、クボタ建機ジャパン、高知広告センター、高知青果市場、高知トヨベツト、四国ココロラボトリング、積水ハウス、高島屋、ティー・エム・エス、天満屋、東海東京証券、日新運輸、ニトリ、日本年金機構、日本パープル、パロマ、宮地電機、メディカル・コンシェルジュ、ユニクロ
【公務員】 高知県庁、高知市役所、高知県警察
【大学院進学】 高知大学大学院、一橋大学大学院、大阪経済大学大学院



山内 高太郎 教授（愛知県出身）

【専門分野】 会計学
【研究テーマ】 会計制度の変化と会計の社会的な役割
【学位】 修士（商学）
【著作】 『証券化の会計における公正価値測定の選択適用の導入』（単著）
『金融商品会計基準と資産概念』（単著）他多数

卒業生からの
メッセージ



株式会社日本パープル 大阪センター
小松 怜央さん

(高知県出身、高知県立高知西高等学校卒業)

経営学ゼミでは、社会で活躍している人の話を聴いたり、モノづくりの現場を見学する機会が多くありました。学生時代にビジネスの現場に触れたことで、企業や経営について洞察力が養われました。大学というフィールドを活用し成果を情報発信してきたことが、今の仕事でのチャレンジにつながっています。

プラットフォームと各プログラムの相性

企業は文化や慣習、それらの相違に由来する課題に直面します。これを理解するために、プラットフォーム科目では、現代の企業行動など経営・会計関連科目のみならず、宗教学概論や言語・コミュニケーション論など文化や慣習、コミュニケーションに関する科目を学ぶことが望ましいでしょう。さらに、社会科学コースの他プログラムの科目は社会制度に対する複眼的な視点が身に付きます。また、グローバル化がもたらした企業経営の難しさの理解には、哲学・思想、歴史・地理学、言語・コミュニケーションの各プログラムでの学びが、本プログラムと深くつながっています。



ゼミ紹介

ゼミの概要

中川ゼミのテーマは多様な人材を活用するマネジメント法です。近年注目を集めているワーク・ライフ・バランスや育児・介護と仕事の両立などについて、企業訪問やアンケート調査を通じた研究・学習を進めています。ゼミ生が地域企業と積極的に連携を図ることで、現場の声を活かせるのが魅力です。

ゼミの雰囲気

企業訪問を行うにあたり、グループワークを通じて調査を行い、ゼミ生同士が協力し合うことで企業の方に対する質問事項を練り上げています。こういったグループ活動や高知県経営者協会の方たちとのスポーツ大会等のイベントを通じ、戦略眼だけでなく社会性も育むことができる活発なゼミです。



ある3年生の「経営・会計プログラム」時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		人事管理論			
2時限	原価計算論	金融論			地域経済論
3時限					
4時限	組織の経済学	専門演習	パーソナルファイナンス		経済法Ⅱ
5時限	競争戦略論				